

医療介護推進基金事業（医療分）の事後評価

1 事業実施結果

令和元年度の決算額は、3,675,210千円（内示額4,392,389千円）であった。
事業内訳については、区分ごとに下表のとおり。

□ 事業区分別一覧

（単位：千円）

区分		R元年度（計画）	R元年度（決算）
I	(1) ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤の整備	27,000	0
	(2) 医療提供体制の改革	2,461,184	2,154,287
	小計1	2,488,184	2,154,287
II	(1) 在宅医療体制の整備・人材の養成	282,575	136,108
	(2) 在宅歯科医療の推進	31,449	31,524
	(3) 在宅薬剤医療の推進	6,006	6,006
小計2	320,030	173,638	
III	(1) 医師確保対策	581,169	529,334
	(2) 看護職員確保対策	820,485	624,695
	(3) その他医療従事者の確保対策	2,048	2,048
	(4) 医療従事者の勤務環境改善	214,225	191,208
小計3	1,617,927	1,347,285	
合計（1+2+3）		4,426,141	3,675,210

2 目標の達成状況

区分	R元年計画目標		達成状況
	考え方	目標値	
区分I （病床機能の分化・連携）	ICTの活用や医療提供体制改革等を通じた全区域での機能分化・連携の取組みの推進	回復期病床数 16,532床（2025）	7,893床（2018） ⇒8,583床（2019）速報値であり、 <u>増加傾向</u>
区分II （在宅医療体制の充実・強化）	県保健医療計画で定める在宅看取り率等の達成	在宅看取り率現状水準維持 27.5%（2018）	28.2%（2019） であり、 <u>目標値を上回る</u>
		在宅療養支援病院・診療所数 1,185箇所（2023）	954箇所（2018） ⇒986箇所（2020） であり、 <u>増加傾向</u>
区分IV （医療人材の確保・養成）	【医師】人口10万人医師数の全国平均並みの確保と、地域偏在の解消に向けた取組みの推進	人口10万人あたり医師数全国平均並 258.8人（2018）	263.7人（2018） であり、 <u>目標値を上回る</u>
		医師不足地域の病院勤務医師数（1病床当たり）の増加 0.115人（2017）	0.133人（2020） であり、 <u>増加傾向</u>
	【看護師】県保健医療計画で定める看護職員数目標値の達成	看護職員数常勤換算 63,937人（2023）	(57,747人（2018）)

3 評価

区分	内容
区分I （病床機能の分化・連携）	<ul style="list-style-type: none"> 病床機能転換推進事業の活用等により、病床の機能分化や連携を一定程度進めることができた。 地域医療構想の実現に向けて、今年度から新たに創設した医療機関再編統合等推進事業等も活用しながらさらなる推進を図っていく。
区分II （在宅医療体制の充実・強化）	<ul style="list-style-type: none"> 在宅看取り率や24時間対応体制加算の届出訪問看護師セッション数など当初計画を上回る整備が図られている。 在宅医療提供体制の充実に向けて、在宅医療従事者向けの研修会の開催や、訪問看護ステーションの機能強化等を引き続き実施していく。
区分IV （医療人材の確保・養成）	<ul style="list-style-type: none"> 医療人材の確保については、医師数・看護職員とも計画的に事業が進めることができた。 医師確保計画・外来医療計画を踏まえ、医療人材の確保・養成に向けた取組を引き続き実施していく。